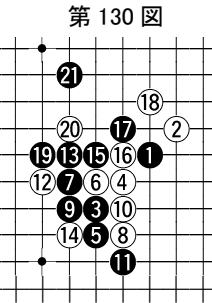


# 彗星ガイド (14)

九段 河村典彦

前回の続きから。白4への對抗策を考えていきたい。

【第130図】黒5と打つのがまず良さそうに見える。と言うのも黒1白2の石を除けば銀月の形になっているからだ。もちろん盤端までの距離が違うので同じとは言えないが、

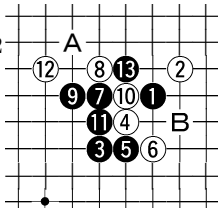


黒1と白2の配石を考えても黒が悪いとは思えない。白6ではやはり本譜のように銀月と同じように防ぐしかないようだ。白6では白2を生かして17と打ちたいが、黒10と組まれると黒勝ちになってしまう。

黒7から黒9は銀月定石通りで、白12までに対し銀月定石では下辺に牽制するが、この場合は黒1の石を生かして黒13と引いてしまつて良い。白18まで必然の応酬だが、ここで黒19と含むのが絶妙の一手。白20しかないが、黒21と連をこちらに使う以下四追いとなる。

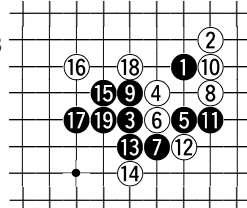
【第131図】次の黒5は3ゝ5の石だけ見ると雲月になっている。この形は基本的には黒1と白2の石を除いて考えてみるのが一つの見方と思つていい。白も最強防に防ぐしかなく、定石の打ち方に似てくる。黒7と叩く形が絶好で、この時白2の位置が何とも変である。その分黒が有利というわけであり、黒は一気に勝つてしまいたい。白8の防ぎは白2の石を何とか使おうという手で油断がならない。

第131図



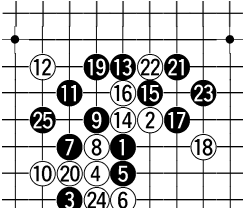
【第132図】黒5も1と3の石の連携を保てるので黒が良いだろう。長星と見てもやはり白2の石がおかしな場所にある。白は打つ手が難しいが、6から8と防ぐぐらいだろうか。これには黒9と落ち着いて押さえているのが冷静な一手だ。これで左辺の制空権を維持し、盤石の体勢となる。白10から12が精一杯の防ぎだが、黒13から15と左辺に進出し、黒19まで休んでおいて以下追い詰めとなる。

第132図

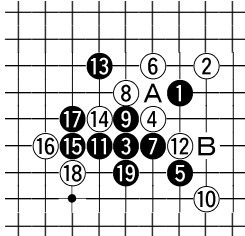


【第133図】続いての黒5。だんだん白2の石に近づいているのでこれは雲月なのか峡月なのかの見立てが難しい。いずれにしても白2の位置がおかしい。白6を14なら黒24と打たれてしまうので、白6はやむを得ないだろう。黒7と叩けばやはり似たような図になる。白8に黒9と打ち、白10と防ぐのが少々厄介でうかつに引いていくと詰まつてしまう可能性がある。ここは一本黒11と引

第133図

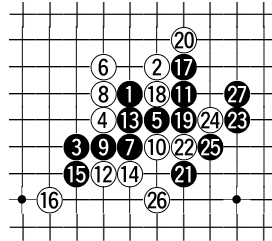


第135図



【第135図】黒5の変化。そろそろこのあたりから難しくなってくる。3、4、5の形だけ見ると水月で、黒1の石が加わっているのが黒が圧倒的にいように見えるが、白6があるだけ厄介になる。ここでいろいろあるようだが、黒7と打つのが正解となる。12の三々禁を狙われそうで怖いのだが、白8と狙ってくる手には黒9から追い詰めがあるのが大丈夫。黒11と三々を解消し、黒13と

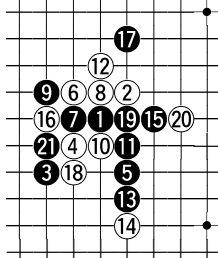
第134図



【第134図】黒5の変化。これは浦月の形ということはずぐにわかるだろう。黒3と白4の石の影響がどれだけあるかだが、やはり浦月の有利性は強い。白6、黒7は必然的にこうなるところだろう。こうなるとやはり先手の利がありそうだ。白8、10は「引いてこい」と勝負をかけた防ぎ。ならばと黒は引いていくが、黒15と一旦逆に引くのがいい手となる。白16の止めに黒17、19と決める。白20の防ぎはやむを得ないが、黒21から25まで引くのが決断の一手で、黒15の効果で白26が絶対となる。

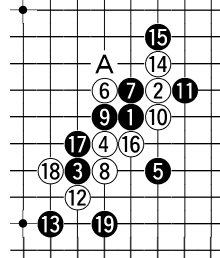
いて、黒13と打つのが先を見据えた絶好の一着。こういう手はどんな局面であっても応用が利くのでぜひ覚えていてほしい。白14に黒15と叩く形がいい形なのが黒13の効果である。白16には黒17から引いていく。最後白24の含み手に黒25のノリ手がびつたりだ。

第137図



【第137図】黒7をこちらから突つ込むのも当然である。対して白は平凡に白8、10と打つておく手が強い。黒も11と打つくらいだが、ここで白12が成立すると黒が危ない。しかしこの手には黒13から15と打つて何とか凌いでいる。ただしこれで黒がいいという訳でもなく、白18の両含みに黒19と四ノビを利かさなければならぬ。黒21と防いでおくのもあるだろう。

第136図



【第136図】さて、いよいよ八題目となった。これで黒が有利ならばこの白4自体打てないが、どうも黒良くない。つまり白としてはこの5が狙い目となる。やはり白6が強く、これに対し黒はどちらかの間に突つ込むこととなる。

まず黒7とこちら側に突つ込むのは、白8でトビ三と打つ手が強くなる。黒9に白10と三々を狙うが、黒11、さらに白12にも黒13と辛抱しておく。結局白は16と根元を解消するが、黒は17から19と防いでこれからの戦いとなる。なお、黒9でAと外から止めるものもある。

四三を見せて止めておく。黒17でうかつに18に引くと、A止めで四三を残されてしまう。ここは黒17と打つていけば大丈夫。黒19以下四追いとなる。また、白10を反対なら黒Bで良い。さらに、白8で12と三々を止めても、黒9から追い勝ちがある。